

安保・戦争国会粉碎へ!

2015年3月11日
No.273

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

市東さんの農地死守! 3/29三里塚闘争へ!

学生自治会旗を押し立てて駆けつけよう!

すべての学生の皆さん、3月4日、東京高等裁判所・小林昭彦裁判長は市東さんの農地裁判・控訴審を一方的に打ち切り、結審しました。3度の口頭弁論を経て証人調べなどの実質審理を開始しようとした矢先のこの暴挙を絶対に許してはなりません。3・29全国総決起集会の大結集で反撃しよう!

この突然の審理打ち切り—結審の強行が示しているのは何でしょうか。それは、政府の「国策」に抗して50年近くに亘って闘ってきた三里塚をここで潰すという強力な意思と、そして闘いへの恐怖です。この攻撃は2月3日の福島大学での学生逮捕、2月26日に突然強行された経済産業省前テント裁判の不当判決による福島圧殺攻撃や、「基地反対」を掲げる沖縄県知事翁長の容認の下に「粛々と」進められる辺野古新基地建設と一体のものです。そしてこれは国家への怒りや矛盾が充満する福島・沖縄・三里塚



昨年の10・12三里塚集会には労農学910人が結集

を潰しておかないと安倍政権が推し進める戦争国家化、原発再稼働、TPPや農業改革といった「国策」が一步も立ち行かないという危機からの絶叫なのです。私たちは今春の安保国会粉碎の闘いの「第一の決戦」として3・11郡山—3・29三里塚闘争を位置づけ、まず学生が先頭を切って2・3福島大弾圧を完全に打ち破るという勝利を切り拓きました。3・29



1968年2・26闘争で角材を持った全学連の学生が成田市営グラウンド横の空港公園成田分室に肉迫



1968年3・31闘争で成田市営グラウンド横の空港公園分室構内に突入し装甲車に赤旗を立てる全学連

の爆発でこの闘いに続こう！

三里塚闘争は48年間、「反戦の砦」として成田空港の建設を阻止し、農地を守り、戦争を止めてきた闘いです。団結して闘えば「国策」に対しても決して負けることはないことを全人民に指し示してきました。その力となってきたのが、「軍事空港反対・農地死守・実力闘争」の3原則、国際連帯、そして労農連帯です。反対同盟は70～80年代のジェット燃料貨車輸送阻止闘争を闘いぬいた動労千葉との労農連帯を深める中で、真に社会に責任を取っていくための力を育んできました。「農民は農地を武器に、労働者は鉄路を武器に」、両輪として闘う中で幾多の分裂策動を跳ね返し、闘い抜いています。今日規制の政治勢力が国家権力に屈服してガラガラと崩れ落ち、労働者・学生への支配の補完物に成り果ている中において、三里塚の労農連帯はかけがえのない位置を占めています。

3月29日の闘争は47年ぶりに成田市の中心部である栗山公園（旧成田市営グラウンド）で行われます。68年2・26—3・10という、当時市役所にあった空港公団の分室への突入行動などの実力闘争が初めて行われた舞台です。反対同盟は三里塚現地での22回に及ぶ一斉行動で周辺住民へのビラ入れや署名活動などの組織戦を積み重ねてきました。この闘いは空港周辺から踏み出し、更に膨大な人民を獲得していく戦闘宣言です。

全国学生は「授業・就活・家族」といった多くのしがらみを打ち破り、三里塚のように闘おう！

3・29三里塚全国総決起集会に総決起しよう！

全国学生は戦争・安保国会粉碎決戦に立とう！

(全学連三里塚現地行動隊・I)

3・8国際婦人デー 杉並で集会・デモ打ち抜く！



【当面する行動方針】

●武田雄飛丸君「無期停学処分」撤回裁判・第9回弁論

3月13日(金) 11時～ 東京地裁615号法廷にて ※傍聴券配布のため、10時半までに裁判所入口脇に集合してください。

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第9回公判＝判決

3月18日(水) 13時半～ 東京地裁429号法廷にて ※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

●“市東さんの農地死守!” 3・29三里塚全国総決起集会

3月29日(日) 正午～ 成田市栗山公園(旧市営グラウンド)にて

